

令和2年4月20日に発生した新型コロナウイルス感染症患者（48例目）に係る
積極的疫学調査の状況について【第1報】

令和2年4月21日

本県において、4月20日に確認された、新型コロナウイルス感染症患者（48例目）の積極的疫学調査について、現在までに判明した結果を以下のとおりお知らせします。

※本日発表の情報部分は、下線のとおり

【患者の概要（48例目：県内45例目の同僚）】

1 年代：70代

2 性別：男性

3 居住地：栃木市

4 症状、経過

4月17日 咳、喉の違和感、発熱（37℃台）あり

4月18日 発熱（37℃台）あり

4月19日 下痢、頭痛あり。同僚（45例目）の陽性を確認。

4月20日 下痢、腹痛あり。

県南健康福祉センターが帰国者・接触者外来の受診を調整し、検体回収。PCR検査の結果、陽性であることが判明。県内の医療機関に入院。

5 行動歴

※基本的にマスクを着用。

- ・ 4月15日 定期受診のため、栃木市内の医療機関Aを受診（マスク着用あり）。
- ・ 4月16日 栃木市内の小学校に出勤後、市内に外出（児童との接触なし）。
- ・ 4月17日以降は、医療機関受診以外は、自宅にて過ごす。
- ・ 海外渡航歴なし。

6 濃厚接触者等について

- ・ 濃厚接触者については、同居の息子のみ。4/21にPCR検査を実施し、陰性を確認。
- ・ 医療機関では、適切な感染防御対策を講じているため、濃厚接触者はいない。

7 公表の考え方について

- ・ 感染症患者の発表に当たっては、感染症のまん延防止に必要な情報と患者のプライバシーのバランスを図る必要があると考える。
- ・ 感染症患者が他者に当該感染症を感染させる可能性がある時期（4/15以降）の行動歴等については、感染症のまん延防止のために必要な範囲で公表することとした。
- ・ 一方、感染症患者が他者に当該感染症を感染させる可能性がない時期（4/14以前）の行動歴等については、感染症のまん延防止に資するものではないと考えるため、公表は差し控える。

◆県民の皆様へ

- ① 県民の皆様におかれては、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の手洗いや咳エチケットなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。
- ② 次の症状がある方は、県広域健康福祉センター又は宇都宮市保健所の相談窓口（帰国者・接触者相談センター）に御相談ください。

- ・ 風邪の症状や 37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。

- （解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）

- ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

御相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」を御紹介しています。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

なお、現時点では、新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様に、かかりつけ医等に御相談ください。

- ③ 換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集まることを避けてください。
- ④ 発熱等の症状がみられるときは、会社等を休み、外出は控えてください。
- ⑤ 感染症情報の詳しい内容は、栃木県庁ホームページに情報を掲載していますので、御確認ください。

◆報道関係の皆様へ

本情報提供は、感染症予防啓発のために行っているものです。

報道機関各位におかれましては、患者等の個人に係る情報について、プライバシー保護等の観点から、提供資料の範囲内での報道に格段の御配慮をお願いします。